



# 三滝だより

NO. 262

2022年11月15日発行



みたきしょうねんしぜん いえ もり ま さか ことし  
三滝少年自然の家の森も秋真っ盛り！今年も実りの秋となりました。と

はいつでも、三滝の森は、鳥や動物たちにとってのレストランなのです。



ミヤマガマズミ

鳥たちは、赤く熟した小さな丸い実をついばんでいます。三滝の森では、ミヤマガマズミやサルトリイバラ、クロガネモチ、シロダモなどが見られます。緑の木々の中に映える赤い実を食べ、鳥たちはその種を遠くまで運

んでくれるのです。

また、ドングリも、コナラ、アラカシ、マテバシイ、ツブラジイ、ウバ



アラカシ

メガシ、イチイガシなどたくさんの種類が三滝の森になっています。リスやネズミ、タヌキ、イノシシなどの動物も大好物ですが、冬の間



ドングリを土の中などに隠して蓄えることもします。で

も、うっかり隠したのを忘れることもあるので、春になるとドングリが芽を出して仲間を増やすことになるのです。

しかし、今、ナラ枯れという問題も起きています。ナラ枯れの発生は、カシノナガキクイムシがナラやシイ・カシの木の幹に入り込んで、病原菌を持ち込み、樹木の細胞に害を与え、道管（水を運ぶ管状のもの）が目詰まりを起こすことで枯死（枯れ果て）させてしまうのです。三滝の森にも「フラス」という状態（樹木に無数の小さな穴を開け、根元に木くずや糞がたまっているところ）になっている木もあり、将来枯れてしまうかもしれません。そこで、三滝少年自然の家では、ドングリの苗を育て、三滝の森を守る取組も進めています。【参考：林野庁HP】



## じつ おい 実は美味しい！ ドングリ！！

縄文時代（今からおよそ1万年前）の遺跡から、人がドングリを食べていた跡が見つかっています。ドングリを粉にして、練って焼いてクッキーのようにして食べていたようです。三滝の森には、生でも食べられるドングリ（マテバシイ、ツブラジイ、スダジイなど）があります。さらに、炒って食べると香ばしく、一層美味しくなるので、縄文時代にタイムスリップして、一つ食べてみませんか。



マテバシイ



ツブラジイ